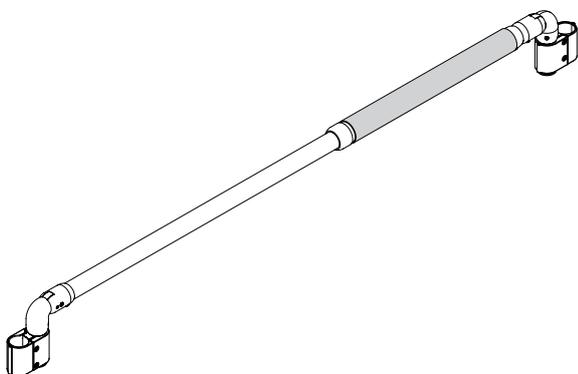


CKH-D90



CKH-D125

## 目次

！安全に関する表示	2
1. メンテナンスの目安	2
2. メンテナンス方法	3
3. 消毒方法	6
4. 保管方法	6
5. メンテナンス部品表	7

お買い上げありがとうございます

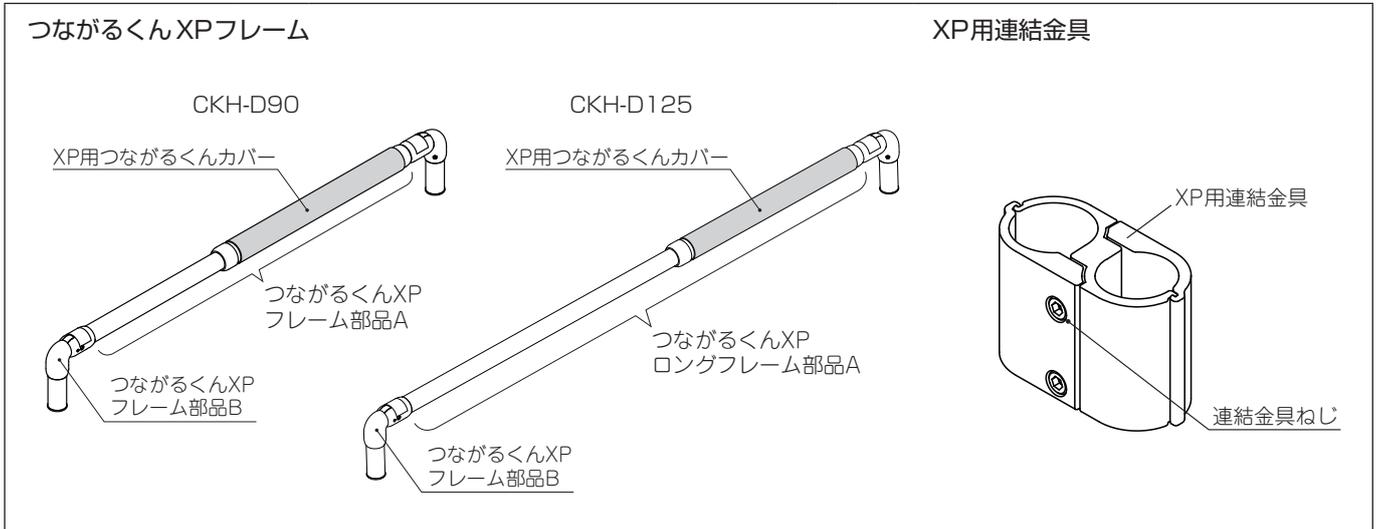
販売店様：このメンテナンスマニュアルを必ずお読みになり大切に保管してください。

！安全に関する表示

※いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

<p><b>警告</b></p>	<p>誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。</p>	<p> 禁止</p>	<p>してはいけない内容です。</p>
<p><b>注意</b></p>	<p>誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。</p>	<p> 必ず守る</p>	<p>必ず守っていただく内容です。</p>

1. メンテナンスの目安



場 所	状 態	対 処 方 法
全体	<p>● 汚れ</p>	<p>● 2. メンテナンス方法 [1] 拭き取り</p>
	<p>● 塗装面にキズがある</p>	<p>● 2. メンテナンス方法 [2] 塗装面の補修</p>
	<p>● XP用連結金具を締め付けてもガタつきがある</p>	<p>● 2. メンテナンス方法 [3] ねじのゆるみ点検 [5] 部品交換</p>
XP用連結金具	<p>● 連結金具ねじがスムーズに回らない</p>	<p>● 2. メンテナンス方法 [4] 潤滑剤の塗付 [5] 部品交換</p>
	<p>● XP用連結金具がうまく噛み合わない</p>	<p>● 2. メンテナンス方法 [5] 部品交換</p>
つながるくんXPフレーム	<p>● つながるくんXPフレームの変形</p>	<p>● 2. メンテナンス方法 [5] 部品交換</p>
	<p>● つながるくんXPフレーム部品AまたはつながるくんXPロングフレーム部品A、つながるくんXPフレーム部品Bの深いキズ欠けまたは亀裂</p>	<p>● 2. メンテナンス方法 [5] 部品交換</p>
	<p>● XP用つながるくんカバーの擦りキズや剥がれ、摩耗等の劣化</p>	<p>● 2. メンテナンス方法 [5] 部品交換</p>

[1] 拭き取り

- 水中性洗剤を含ませた布をかたくしぼって拭いてください。

⚠ 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● シンナー・ベンジンなどは使用しない。 変質するおそれがあります。</li> <li>● たわしや磨き粉で磨かない。 キズがつくおそれがあります。</li> </ul>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直射日光は避けて陰干しする。 変形や破損するおそれがあります。</li> </ul>

[2] 塗装面の補修

汚れ、油などを拭き取り、専用塗料（P.7「5. メンテナンス部品表」参照）で塗装してください。

- 用意するもの：

たちあっぷ 540  
スプレー塗料 MGR



補修対象部品

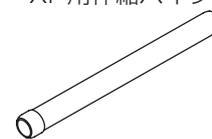
XP用連結金具



XP用φ32自在ジョイント



XP用伸縮パイプ



⚠ 注意	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● XP用伸縮パイプのXP用つながるくんカバー貼付面には塗装をしない。 補修塗装面にXP用つながるくんカバーを貼ると接着がより強力となり、剥がす際に糊が残りやすくなります。</li> <li>● 塗装は屋外または換気の良い場所で行う。 密閉された作業場で行う場合は局所換気装置を設け、塗装中、乾燥中ともに換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにしてください。</li> <li>● 塗料や塗装面に触れないように注意する。 塗装中は必要に応じてマスクや手袋を着用し、できるだけ皮膚に触れないようにしてください。</li> </ul>

[3] ねじのゆるみ点検

- 用意するもの：

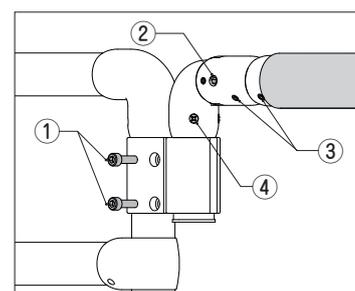
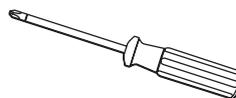
1. 六角レンチ  
（対辺 3mm）



2. 六角レンチ  
（対辺 5mm）



3. プラスドライバー



- ・ 下図の①～④のねじの全てが指定トルクで締め付けられていることを確認してください。
- ・ 指定トルクで締め付けられていてもガタつきがある場合は部品に変形や深いキズ、亀裂がないかを確認し、適切に「[5] 部品交換」を行ってください。

ねじの種類	必要工具	締め付けトルク
① 連結金具ねじ	六角レンチ（対辺 5mm）	2.6～2.9N・m {27～30kgf・cm}
② 六角穴付き止めねじ M10	六角レンチ（対辺 5mm）	6.9～7.8N・m {70～80kgf・cm}
③ 六角穴付き止めねじ M6	六角レンチ（対辺 3mm）	3.9～4.9N・m {40～50kgf・cm}
④ 皿ドリルねじ	プラスドライバー	1.96N・m {20kgf・cm}

⚠ 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ねじは指定トルク以上で締め付けない。</li> <li>● 電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。</li> </ul>

#### [4] 潤滑剤の塗布

- ねじがスムーズに回らない場合は潤滑剤を吹き付け、余分な潤滑剤をウエスで拭き取ってください。

#### [5] 部品交換

- 他の部品に付着している汚れや油を取り除いてから、新しい部品を取付けてください。
- 組立方法は、「つながるくんXP取扱説明書」をご覧ください。

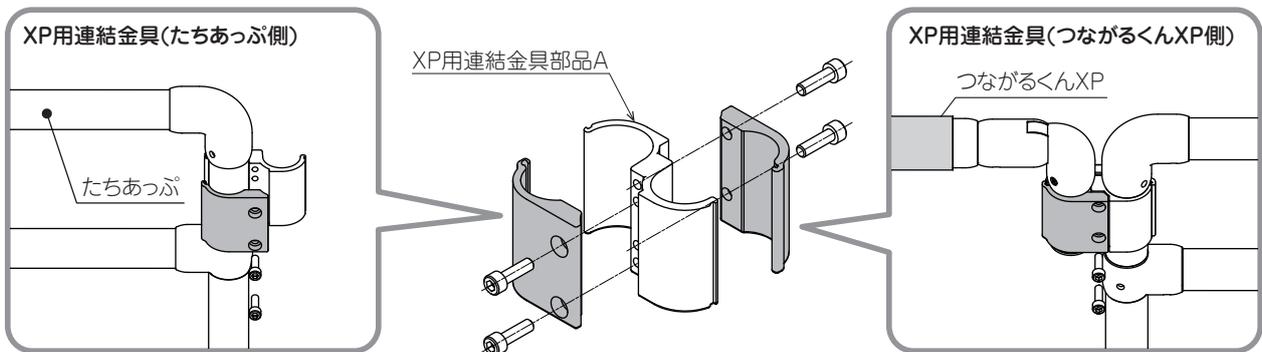
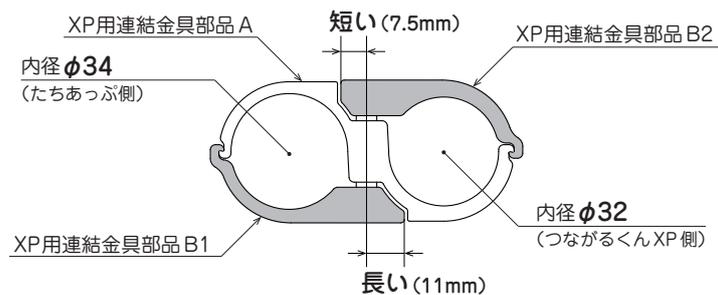
<b>⚠ 注意</b>	
<b>!</b> 必ず守る	● 部品交換を行う際は、指定部品をお求めください。
	● 指定トルク以上で締め付けしないでください。 XP用連結金具やねじが破損するおそれがあります。
	● 部品交換を行った際は、ご使用前にねじのゆるみ、ガタつきがないことを再確認してください。

**!** XP用連結金具には以下の特性があります。ご理解の上、組立・メンテナンスをお願い致します。

XP用連結金具の内径は、 $\phi 34$ と $\phi 32$ があります。

内径「 $\phi 34$ 」…「たちあつぷ」側に取り付けます。

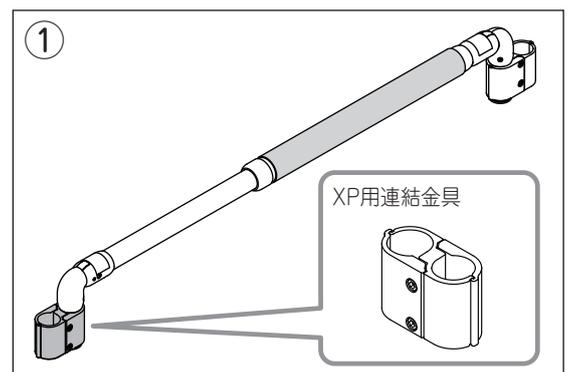
内径「 $\phi 32$ 」…「つながるくんXP」側に取り付けます。



#### ① 連結金具を締め付けてもガタつきがある

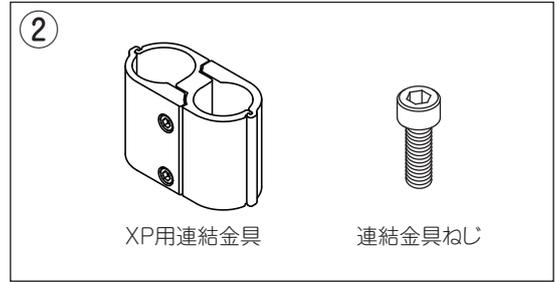
「つながるくんXP」が正しく取り付けられているか、両端の「たちあつぷ」にねじのゆるみやガタつきがないかを確認してください。

異常がない場合、つながるくんXPフレームやXP用連結金具が変形・破損している可能性があります。適切に部品交換を行ってください。



② 連結金具ねじがスムーズに回らない

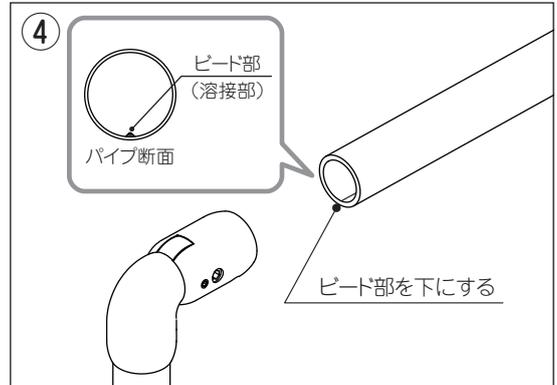
ねじ山が潰れている可能性があります。ねじ、XP用連結金具のうち異常のある部品を交換してください。  
 ・連結金具ねじの締めトルクは2.6～2.9N・m{27～30kgf・cm}。



③ XP用連結金具がうまく噛み合わない

XP用連結金具が変形している可能性があります。異常がある場合はXP用連結金具を交換してください。

XP用連結金具の内径はφ34(たちあっぴ側)とφ32(つながるくんXP側)があります。P.4の部品組み合わせ図を参照し、部品をご確認の上、組み合わせにご注意ください。



④ つながるくんXPフレーム部品Aまたは、つながるくんXPロングフレーム部品Aの変形、樹脂キャップの外れ、深いキズ・亀裂  
 つながるくんXPフレームを交換してください。ビード部(パイプ内面の溶接部)が下側になるように注意しながら、組み立ててください。

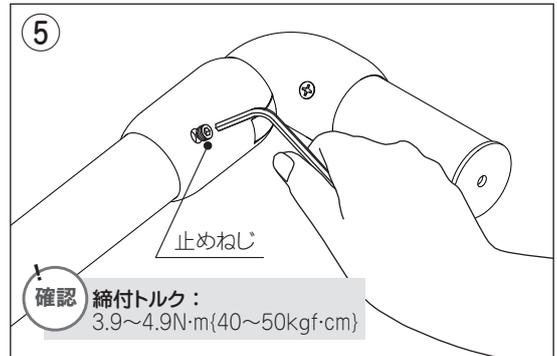
⑤ XP用φ32自在ジョイントの深いキズ・亀裂

つながるくんXPフレーム部品Bを交換してください。

すべての止めねじをバランスよく締め付け、ねじ頭がジョイント面から飛び出さないようにしてください。

止めねじにはゆるみ止め剤が塗布されています。締め付けの際には、はみ出したゆるみ止め剤が他の部品に付着する可能性がありますので、はみ出したゆるみ止め剤はその場で拭き取ってください。

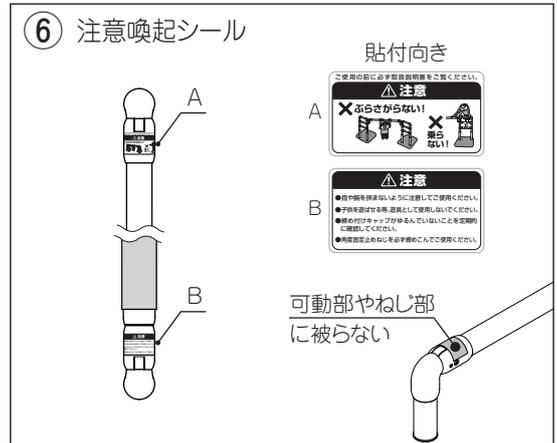
つながるくんXPフレーム部品Bには、XP用φ32自在ジョイントの可動部やねじ部に被らないように⑥の貼付位置と向きに注意して、注意喚起シールを必ず貼り付けてください。



⑥ 注意喚起シールの注意内容が見つらなくなった場合

新しい注意喚起シールに貼り替えてください。

<b>⚠ 注意</b>	
<b>!</b> 必ず守る	● 注意喚起シールを貼りかえる際は、XP用φ32自在ジョイントの可動部やねじ部に被らないように⑥の貼付位置と向きに注意する。

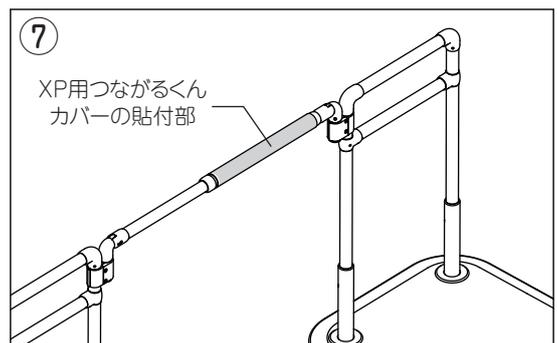


⑦ XP用つながるくんカバーに擦りキズや剥がれ、摩耗等の劣化が生じた場合

P.6の「XP用つながるくんカバー取付方法」に従い、新しいカバーに貼り替えてください。

XP用つながるくんカバーの取付前に下記をご確認ください。

- ・取り付けは納入業者、または、メンテナンス業者が行ってください。
- ・貼付部をきれいに拭いてから貼り付けてください。
- ・貼付部が汚れていると貼り付かない可能性があります。



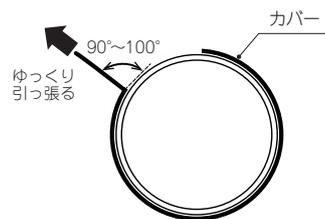
## XP用つながるくんカバー取付方法

XP用伸縮パイプの止めねじ（下図参照）に被らないように注意して取り付けてください。

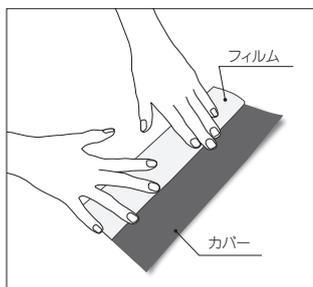
### 1. パイプに貼ってある古いカバーはすべて剥がしてください。

貼付面から90°～100°の角度で、カバーをゆっくり引っ張りながら剥がしてください。

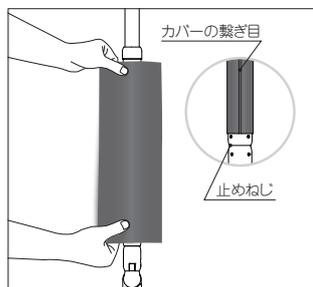
- XP用つながるくんカバーが濡れた状態であったり、使用期間によって、剥がした時に糊がパイプに残る場合があります。その際は粘着剤はがしなどをご使用ください。
- XP用つながるくんカバーは接着力の強い両面テープを使用しているため、メンテナンスの際にXP用伸縮パイプの塗装が剥がれる恐れがありますが、塗装の必要はありません。  
※補修塗装面に貼ると接着がより強力となり、剥がす際に糊が残りやすくなります。
- 長期間貼り付けておくと、XP用つながるくんカバーを剥がした際に、XP用つながるくんカバーを使用した部分と使用していない部分で色の差が発生する場合がありますが、品質に問題はありません。
- XP用つながるくんカバーは、一度剥がすと再び使用することができません。



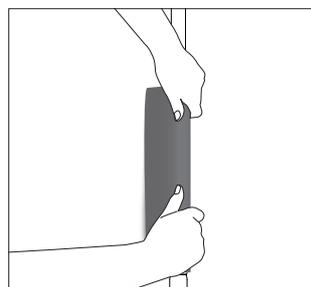
### 2. カバー裏面についている両面テープのフィルムを半分剥がし、半分に折ってください。



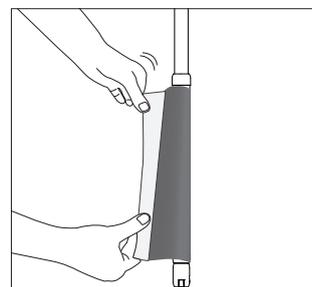
### 3. カバーの繋ぎ目が下側になるようにパイプとカバーの中心を合わせて、まっすぐに貼り付けてください。



### 4. 空気が入らないように、カバーの中心から外側に向かって押さえながら貼りこんでください。



### 5. 逆側もフィルムを引っ張りながら空気が入らないように貼りこんでください。



## 3. 消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。
- この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用してください。また、塩素系の消毒液を使用した場合はしっかりと拭く、もしくは、洗い流してください。  
(参考：次亜塩素酸ナトリウム6%水溶液なら120倍～300倍程度に希釈)

### ⚠ 注意



禁止

- オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しない。  
変質して破損するおそれがあります。
- XP用つながるくんカバーには塩素系洗剤や消毒系薬品などを使用しない。

## 4. 保管方法

- 製品は直射日光を避けて、乾燥した常温の室内に保管してください。
- 製品は平らな面の上で安定した状態で保管・輸送してください。
- 製品は外部からの衝撃や荷重がない状態で保管・輸送してください。

### ⚠ 注意



禁止

- 製品を保管・輸送する際は製品に衝撃や荷重をかけない。  
製品に破損や擦り傷、凹み傷が生じるおそれがあります。
- 製品を重ねた状態で保管・輸送をしない。  
製品に破損や擦り傷、凹み傷が生じるおそれがあります。
- 製品の上に荷物を載せない。  
製品に破損や擦り傷、凹み傷が生じるおそれがあります。



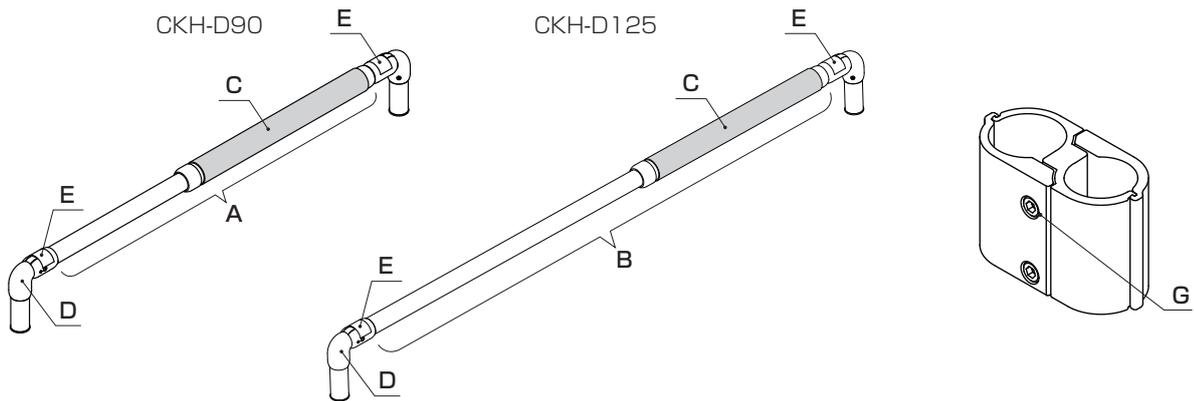
必ず守る

- 直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管する。  
高温多湿の場所で保管すると変形、結合部はずれの原因になります。

## 5. メンテナンス部品表

つながるくんXPフレーム

XP用連結金具 (F)



記号	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
A	つながるくんXP フレーム部品 A	CKH-DFC90		アルミ プラスチック被覆ステンレスパイプ 樹脂 発泡ポリエチレン	1本
B	つながるくんXP ロングフレーム部品 A	CKH-DFC125		アルミ プラスチック被覆ステンレスパイプ 樹脂 発泡ポリエチレン	1本
C	XP用つながるくん カバー 10入	CKH-DFK 10 個		発泡ポリエチレン	10 枚
D	つながるくんXP フレーム部品 B	CKH-DFD		アルミ合金 プラスチック被覆ステンレスパイプ 樹脂	1 個
E	注意喚起シール 10 入	CKH-DS 10 個		樹脂	10 枚 (2種類/枚)
F	XP用連結金具	CKH-DA		アルミ合金	1セット (2個入)
G	連結金具ねじ	CKA-EAC		ステンレス	50 本
—	六角レンチ (対辺 5mm)	CKA-MJ 5M 5 個		スチール	5 本
—	たちあっぷ 540 スプレー塗料 MGR	CKH-SD MGR		—	1 本

※製品の仕様等は、予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

## ● 矢崎化工株式会社

介護支援ページ  
**kaigo-web**  
<http://www.kaigo-web.info/>

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

■ 北海道支店 福祉介護機器課  
〒072-0007 北海道美瑛市東6条北 8-2-1  
TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459

■ 仙台支店 福祉介護機器課  
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280  
TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099

■ 関東支店 福祉介護機器課  
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町 88  
TEL 0276(38)1511 FAX 0276(38)3522

■ 東京支店 福祉介護機器課  
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3  
TEL 04(2944)7113 FAX 04(2944)7007

■ 神奈川支店 福祉介護機器課  
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木 3-4  
TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316

■ 静岡支店 福祉介護機器課  
〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1  
TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988

■ 名古屋支店 福祉介護機器課  
〒484-0963 愛知県犬山市字鶴池 48-2  
TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219

■ 大阪支店 福祉介護機器課  
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1  
TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

■ 広島支店 福祉介護機器課  
〒738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17  
TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890

■ 九州支店 福祉介護機器課  
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1  
TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026

19112304

DW-261-01